

2020年11月6日

上場会社名 株式会社 ウッドワン

上場取引所 東

コード番号 7898 URL <https://www.woodone.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中本 祐昌

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 野口 貴博

TEL 0829-32-3333

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

2020年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	27,741	14.4	940	4.4	657	41.7	367	34.9
2020年3月期第2四半期	32,416	5.8	900	568.5	464		272	

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,780百万円 ( %) 2020年3月期第2四半期 1,762百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	39.42	39.41
2020年3月期第2四半期	29.21	

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	86,051	38,093	43.2
2020年3月期	80,688	36,497	44.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 37,183百万円 2020年3月期 35,656百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		18.75		18.75	37.50
2021年3月期		12.00			
2021年3月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,900	10.5	1,700	12.4	1,200	18.2	600	27.6	64.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	9,841,969 株	2020年3月期	9,841,969 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	511,260 株	2020年3月期	511,054 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	9,330,828 株	2020年3月期2Q	9,331,537 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、世界的規模で感染が拡大し続けている新型コロナウイルス感染症の影響を受け、個人消費や企業活動が著しく制限されたことで景気が急速に悪化し、厳しい状況が続きました。また、緊急事態宣言解除後は政府の様々な経済支援策もあり経済活動の回復に向けた動きはあるものの、感染の収束には至らず、依然、先行き不透明な状況が続いています。

住宅業界においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響などから新設住宅着工戸数が減少し、当社グループの主力販売分野である持家や分譲戸建住宅の着工数も前年同期に比べ減少しました。住宅会社各社の受注状況は8月以降回復傾向にありますが、今後の国内住宅市場の落ち込みの程度やさらなる回復に向かう時期などは不透明な状況にあります。

当社グループは、全世界に影響を与えている新型コロナウイルス感染症の感染拡大という新たな課題に対し、生産、供給面においては、海外子会社を含めたサプライチェーンの一層の強化を図っています。販売面においては、これまでの訪問活動やショールーム運営から、ニューノーマル（コロナ禍後の新常态）を見据えた新たな営業プロセスとして、従来の「訪問型営業」に「オンライン型営業」を加え、顧客接点強化、営業生産性の向上を図っています。また、ITツールの整備、活用、定着化を進め、生産性の向上や経費削減に努めながら、テレワークや時差出勤、就業場所の分散などにも柔軟に対応しています。

新しい市場であるリフォーム、非住宅、商環境施設や海外市場に向けて新たな商品を開発し、新たな生産・販売体制及び仕組みで既存の新築市場の動向に左右されない企業体質を目指しています。販売面でのグローバル展開としては、ニュージーランド子会社は、当社グループ工場向けの生産数量を確保した上で外販の促進を行い、インドネシア子会社は、さらなるインドネシア国内市場の開拓と欧州等の海外販路開拓を進めています。

当第2四半期連結累計期間は、5月25日の緊急事態宣言解除以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け延期されていた建築工事が徐々に再開したものの、外出自粛要請中の受注活動の低迷等による新設住宅着工の減少が影響し、前年同期に比べ売上高は減少しました。こうした市場環境において、日本国内の工場は感染防止対策を行った上で通常稼働する中、政府の経済支援策も活用し、生産性の向上と経費の削減に努めました。また、海外子会社においては、政府の要請により生産活動を一時停止していましたニュージーランド子会社は2020年4月28日から生産活動を再開し、政府の新型コロナウイルス感染症に対する経済支援策も受ける中、通常稼働しています。同じく政府の要請により生産活動を一時停止していましたフィリピン子会社は2020年5月16日から順次生産活動を再開し、現在、通常稼働しています。今後、各国子会社とも新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況次第では再度の操業規制の可能性がります。

こうした状況の中、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、27,741百万円（前年同期比14.4%減）、営業利益は940百万円（前年同期比4.4%増）、経常利益は657百万円（前年同期比41.7%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は367百万円（前年同期比34.9%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

#### ①住宅建材設備事業

住宅建材設備事業では、2020年4月上旬から5月下旬の外出自粛要請などの影響から、ショールームの休館、顧客訪問の自粛など営業活動に制限がりましたが、オンラインを活用した商談・説明会等の開催や「WITHコロナ」の提案資料『NEW NORMAL NEW LIFE』などをメールマガジンとして配信するなど、新たな営業手法をタイムリーに織り込み、顧客接点の維持・増強に努めてきました。また、第1四半期に無垢の木のキッチン「スイージー」に5つの新色を追加したことに加え、第2四半期には「無垢ピノアース建具」の新デザイン商品を積極的にPRするとともに、主力床材商品「コンビットグレード」、「ブラッシングオーク」に抗ウイルス加工を施した商品や、豊富なカラーとサイズごとに、全面エッジ張りで、木口までしっかり仕上げることで施工を簡単にした「仕上げてる棚板」の発売を開始し、新規顧客の開拓、売上の拡大に努めてきました。

6月以降はオンライン営業に加えて、感染防止対策を行いながらの対面営業も可能となり、内装建材のトータル受注を推進するなど営業効率を高めた活動を進めた結果、無垢商品は、今期発売した新デザインのピノアースドアを中心に引き合い（見積件数）は増加傾向にあり、建築現場の生産性向上を目的とした省施工商品では「ジャストカット階段」や「天井野縁システム」等において、前年を上回る受注となりました。

また、ショールームは緊急事態宣言下、閉館を余儀なくされましたが、宣言解除後は完全予約制で再開し、プラザ新宿では、新商品商談会やインスタライブの配信を行いました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の住宅建材設備事業の売上高は前年同期に比べ減少しましたが、木材の特性を活かした無垢の収納商品や職人不足に対応した省施工商品など高付加価値商品については新規顧客件数、売上実績ともに増加しました。

非住宅の分野では、商業施設やオフィス空間の木質化普及に向け、FSCの森林認証材であるLVLの構造材と2スリット型の接合金物を組み合わせたJWOOD工法による、中・大規模建築の木造化提案に力を入れ、福祉施設や保育園などの設計段階から参画して拡販に努めました。

これらの販促活動により、当第2四半期連結累計期間における住宅建材設備事業の売上高は27,118百万円（前年同期比14.8%減）、営業利益は806百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

#### ②発電事業

発電事業では、本社敷地内に設置している木質バイオマス発電設備について、既存設備を最大限活用するため5月に発電出力を引き上げたことで売上高が増加しました。木質バイオマス発電は、森林から直接産出する「間伐材等由来の木質バイオマス」、当社グループ内も含め製材所や木材加工所から生じる端材などの「一般木質バイオマス」、建築解体現場から排出される「建設資材廃棄物」を燃料としており、加えてフィリピン子会社の端材等も燃料用に加工して輸入するなど安定的に燃料調達を行っています。

この結果、当第2四半期連結累計期間における発電事業は、売上高が633百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益が133百万円（前年同期比19.4%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間における連結財政状態は、為替の影響もあり、前連結会計年度に比べ資産が5,362百万円増加、負債が3,766百万円増加、純資産が1,595百万円増加しました。

資産5,362百万円の増加は、流動資産が1,141百万円、固定資産が4,221百万円増加したことによるものです。流動資産1,141百万円の増加は、主に受取手形及び売掛金が193百万円、たな卸資産が113百万円減少したものの、現金及び預金が1,227百万円、その他(流動資産)が223百万円増加したことによるものです。また、固定資産4,221百万円の増加は、主にインドネシア子会社の新規設備投資や為替の影響から建物及び構築物が431百万円、土地が2,181百万円、立木勘定が1,260百万円増加したことによるものです。

負債3,766百万円の増加は、主に電子記録債務154百万円、未払法人税等が306百万円減少したものの、新型コロナウイルス感染症対策やインドネシア子会社の新規設備投資のため借入金が4,366百万円増加したことによるものです。

純資産1,595百万円の増加は、主に利益剰余金が192百万円、為替換算調整勘定が1,110百万円増加したことによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年10月30日に公表いたしました「業績予想および配当予想に関するお知らせ」において開示していますのでご参照ください。

なお、今後の新型コロナウイルスの感染拡大の状況次第で予想数値は変動する可能性があります。開示すべき重要な事項が発生した場合には、速やかに業績への影響をお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,614	7,841
受取手形及び売掛金	7,389	7,196
商品及び製品	3,968	3,904
仕掛品	1,733	1,748
原材料及び貯蔵品	6,020	5,955
その他	675	899
貸倒引当金	△16	△18
流動資産合計	26,385	27,526
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,809	7,241
機械装置及び運搬具(純額)	4,402	4,398
土地	13,399	15,581
立木	14,021	15,281
その他(純額)	4,008	4,169
有形固定資産合計	42,642	46,672
無形固定資産	691	786
投資その他の資産	10,968	11,065
固定資産合計	54,303	58,524
資産合計	80,688	86,051
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,406	3,417
電子記録債務	2,559	2,405
短期借入金	7,145	7,408
未払法人税等	520	214
引当金	316	315
その他	2,940	2,439
流動負債合計	16,890	16,200
固定負債		
社債	3,300	3,300
長期借入金	20,476	24,579
繰延税金負債	291	519
引当金	396	334
退職給付に係る負債	1,128	1,135
その他	1,708	1,888
固定負債合計	27,300	31,757
負債合計	44,191	47,957

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,324	7,324
資本剰余金	7,519	7,519
利益剰余金	22,042	22,235
自己株式	△2,121	△2,121
株主資本合計	34,765	34,958
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	466	655
為替換算調整勘定	585	1,695
退職給付に係る調整累計額	△160	△126
その他の包括利益累計額合計	891	2,224
新株予約権	157	148
非支配株主持分	682	761
純資産合計	36,497	38,093
負債純資産合計	80,688	86,051

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	32,416	27,741
売上原価	22,821	19,255
売上総利益	9,595	8,486
販売費及び一般管理費	8,694	7,545
営業利益	900	940
営業外収益		
受取利息	24	7
受取配当金	35	33
受取賃貸料	93	92
為替差益	—	1
その他	87	78
営業外収益合計	239	213
営業外費用		
支払利息	173	187
売上割引	211	189
為替差損	141	—
その他	149	119
営業外費用合計	676	496
経常利益	464	657
特別利益		
固定資産売却益	2	3
投資有価証券売却益	51	0
新株予約権戻入益	8	10
その他	5	—
特別利益合計	67	15
特別損失		
固定資産売却損	0	0
投資有価証券売却損	98	—
操業休止関連費用	—	37
その他	12	2
特別損失合計	110	40
税金等調整前四半期純利益	421	632
法人税、住民税及び事業税	208	141
法人税等調整額	△37	122
法人税等合計	170	263
四半期純利益	250	368
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△21	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	272	367



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	250	368
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28	189
為替換算調整勘定	△2,050	1,188
退職給付に係る調整額	8	33
その他の包括利益合計	△2,013	1,411
四半期包括利益	△1,762	1,780
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,610	1,701
非支配株主に係る四半期包括利益	△151	78

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。